

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	丸山裕範
	<b>実計対象</b>	<b>評価対象</b>	<b>新規</b>	<b>完了事業</b>	<b>ゼロ予算事業</b>	<b>経費区分</b>	-	<b>内線</b>	245-0407
全体計画									
<b>事務事業名</b>	4313 博物館管理運営事業								
<b>所 属</b>	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課								
<b>施 策</b>	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進								
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計							
	<b>科目</b>	100604 教育費・社会教育費・博物館費							
	<b>事業</b>	020000 博物館管理運営事業							
<b>事業目的</b>					<b>事業概要・効果</b>				
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な市民ニーズに応える。					資料の収集・保存及び調査研究を行うとともに、特別展をはじめとする展示活動や各種講座・講演会などの事業を推進し、市民の生涯学習の場とする。  また、全市をフィールドとした「どこでも博物館」の活動を推進するため、博物館ボランティア会とともに活動をすすめる。				

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
特別展(吉向焼) 入館者数 954人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 907人 スポット展示「猿の根付展」 入館者数 643人 特集展示(堀家の雛人形など) 入館者数 1,042人 千支コレクションアワード2016猿への参加・投票 全国第1位	
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	博物館事業参加者数				
算式	20,000				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成27年度実績値（18,598人）の約10%増				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		12,717	14,285
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	523	579
一般財源		12,194	13,706
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	1.9	1.9
	臨時職員	0.3	0.3
人員コスト	正規職員	6,487.2	6,487.2
	嘱託職員	5,139.5	5,139.5
	臨時職員	309.0	309.0
	計	11,935.7	11,935.7
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		24,652.7	26,220.7

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	492	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	1,976	展示等消耗品費249、燃料費113、印刷製本費（ポスター2回、チラシ2回外）759、光熱水費794、修繕料49 外
13節 委託費	450	警備保障委託、製糸機械清掃委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	9,646	報酬5,420、共済費1,042、賃金1,498、旅費185、役務費876、使用料及び賃借料590、原材料費40

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	455	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	3,121	特別展示等消耗品、ポスター・チラシ等印刷
13節 委託費	637	館内警備保障委託、製糸機械清掃委託、樹木伐採業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	9,919	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市民が歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、常設展をはじめとする展示活動及び講座活動を開催する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	平成27年度特別展では「吉向焼」の展示を行い、市指定文化財である「須坂吉向焼」についてPRすることができた。 「ミュージアム干支コレクションアワード2016猿」に参加し、投票を呼びかけ、全国第1位（グランプリ）を獲得したことで収藏品や博物館の認知度向上に繋がった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	博物館ボランティア会の協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説などの収藏品活用事業を展開している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

市民等の歴史・文化学習に資するために、特別展等の開催を工夫して行い、情報発信に努めた。また、博物館を親しみやすくし、認知度の向上を図るために、インターネット上の「干支コレクションアワード2016猿」への参加等の新たな事業も行った。地域の歴史・文化の概要を学ぶ拠点施設として、さらに常設展示の充実を図る必要がある。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
耐震基準を満たしていないため、既存施設への移転について検討する。収蔵品を活用し、須坂市の歴史・文化、自然科学を学ぶ機会を提供する。	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
建物の老朽化や耐震、施設狭隘のため、収蔵品の分散展示をどのように進めていくのか検討が必要。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	